

米倉教公の週間為替市場見通し

1/30 日週号

ドル/円予想レンジ 112.50 - 118.60 円

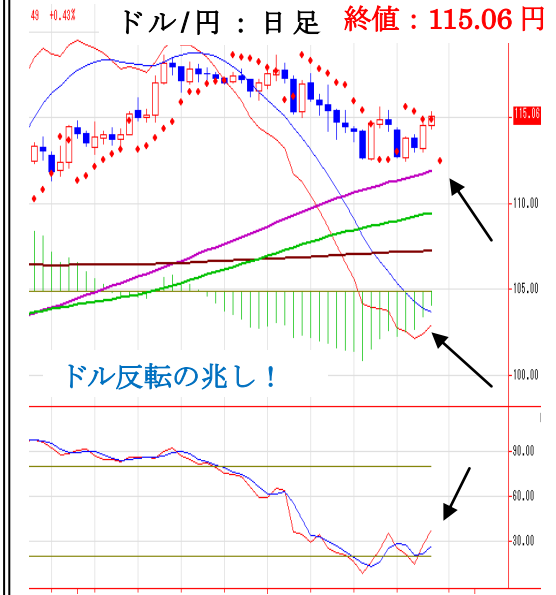
『米・日・英の金融政策決定会合の声明に注目！』

■今週の市場動向：ドルは値動きの激しい展開だった

今週のドル/円の週足では、2週連続で下ヒゲ長い下影陽線と上昇を暗示するロウソク足となった。週明け23日は、日経平均株価の下落や米長期金利低下を受けて売り先行となった。また、トランプ大統領がTPPから離脱する離脱する大統領令に署名したことや、ムニューチン次期財務長官による発言もドル売りにつながった。24日は、一時アジア時間で112.48円まで下落したが、トランプ大統領が、原油を運ぶパイプラインなどを建設する案件に署名したことを受けて、リスク選好の株高円ドル買いが強まった。25日は、NYダウは20,000ドルの大台に乗せるなどリスク選好の動きと、メキシコ国境に壁を建設する大統領令に署名するなど保護主義色を強め、ドル/円は方向感のない展開になった。26日は、NYダウが連日の史上高値を更新するなか、ドル/円は上値を伸ばした。27日は、ドル強含みで推移したものの、10-12月期米GDP総く放置が予想を下回る結果となり、米長期金利が低下した影響からドル回の勢いも鈍化した。

■来週の注目点：米・日・英の金融政策決定会合の声明に注目！

来週は、FRBを始め日本銀行、英国中央銀行の金融政策決定会合が開催される予定となっている。全ての政策会合で金融政策を据え置くと見られている。ただ、今後の金融政策の軌道を探るうえで、声明に注目が集まる。特に3月のFOMCでの利上げが示唆されるかどうか焦点となる。日銀の会合では、景気や物価に対する判断が注目点となる。週末には、米国で完全雇用状態となっているなか以前ほど注目度は低いですが、米1月雇用統計が発表される。特に賃金動向が注目される。来週も引き続きトランプ米大統領の発言に相場は翻弄される展開になりそうだ。特にFOMC後のドル高けん制には警戒が必要だ。ドル/円の上値は19日高値115.62円、11日高値116.87円、9日高値117.55円、3日高値118.61円が上値抵抗。下値は25日高値113.98円、24日安値112.48円などが下値支持。来週も引き続き、トランプ発言や重要イベントが多く、ボラティリティが高そうなので注意が必要だ！！



★今週の気になる出来事

トランプ大統領の発言が色々と問題となっているが、標的となった政府や官僚達は発言内容に対応する準備時間ができる。友好的態度をとりながら、いきなり無理難題の要求を押しつけられるよりはましである。ところで、対中国の高関税や国境税と称される高関税もしくは法人税改革における国境調整はいずれも、世界貿易機関（WTO）違反になるらしい。トランプ大統領は、自由貿易促進を主たる目的として創設された国際機関からも離脱する気であるのだろうか？そうすると保護主義ではなく鎖国となる。

■テクニカル的な見解：テクニカル的には下落基調から反転の兆し！

シカゴIMM投機筋の1月24日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲77,830から▲66,840へと売り持ちは前週から減少した。持高の減少は4週連続となった。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、27日に売りから買いに転換した。30日のSARは112.48円までの下落で売り転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、MACDは上向きに。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、売られ過ぎ域から上昇基調に転換。75日線（紫線）が200日線（茶線）とゴールでクロスを達成したことで、中期的には上昇基調継続。ダブルトップのネックラインの116.03円まで回復することが出来るかが焦点となる。また、10日線を上抜けしたことで、25日線の115.47円も上値節目となりやすい。トランプ新政権からドル高けん制が出なければ上値トライの状況となっている。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。